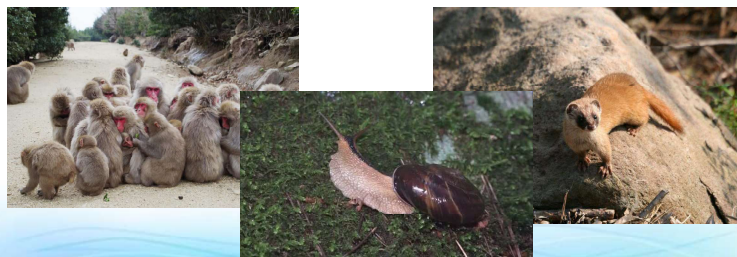


小豆島の自然環境を整えませんか？

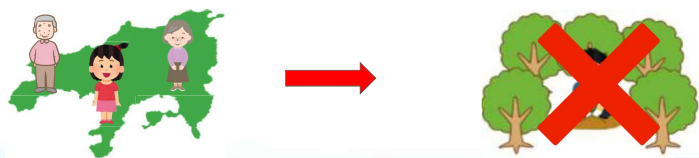


【自然について追求しようと思った経緯】



【小豆島の現状】

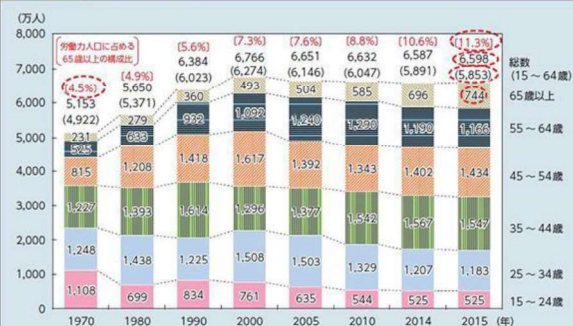
若者が島を離れて戻ってこない → 少子高齢・人口減少 人手不足 自然設備整備不足



小豆島の自然の課題

→ 自然環境が整っていない

図表 1-3-1 労働力人口の推移



資料：総務省統計局「労働力調査」(基本集計)
 (注) 1. 「労働力人口」とは、15歳以上の人口のうち、「就業者」と「完全失業者」を合わせたものをいう。
 2. 1970年は、沖縄県を含まない。

30～40代の自然に興味を持っている人

を対象に旅行プランを発信

【具体的な課題】

自然の魅力を30～40代の人に発信できし、整備不足を解決するためにどうすればよいか

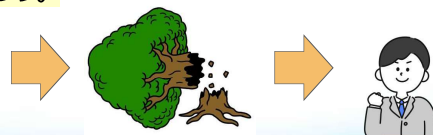
☆課題を解決するためには☆

働きたいと思ってもらうきっかけづくり

【仮説】

自然の魅力を体験を通して親しみ楽しみながらも自然設備の現状を知ってもらい旅行プランを考えれば、働きたいと思ってもらい設備や整備が整うだろう。

旅行ツアーを行う



【セールスポイント】 小豆島の 自然環境を整えます！

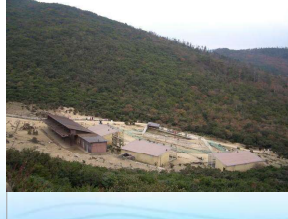
期待される効果

- 1: 人口不足・働き手減少の改善
- 2: 自然環境が整う

30×6=180
20×6=120本

(解説)
寒霞溪で植樹ボランティア活動を行います。
旅行ツアーに参加する人数を30人として全員が一人あたり6本植えると・・・
180本木を植えることになる！
ボランティアをする人が全体の三分の二だったとしても植える木の本数は120本

具体的な旅行日程案

1日目・銚子溪おさるの国	2日目・寒霞溪	3日目・中山千枚田
		

1日目 銚子溪おさるの国



一日目は銚子溪おさるの国です。ここではおさるといっしょに写真を撮り、餌をあげてお猿とふれあえます。そのあと銚子溪に登り、みどりの美しい自然の風景を堪能できます。ここでは小豆島の自然の魅力である人と野生動物の距離が近いということと豊かな自然と一緒に感じることができます。

2日目 寒霞溪

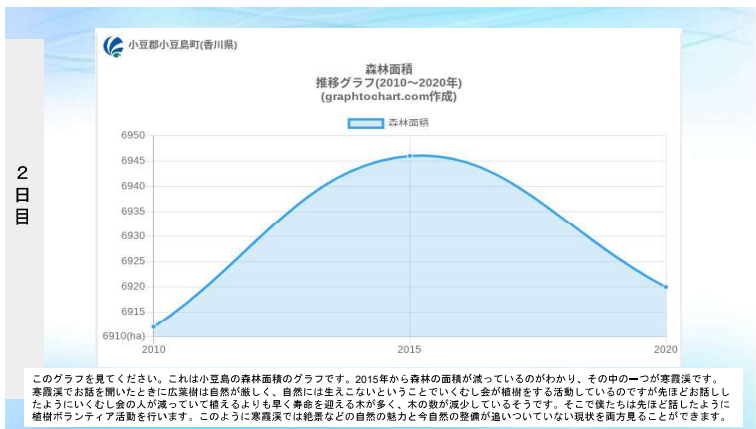


寒霞溪に登ることで火山活動地殻変動や風化と侵食によって多種多様の奇岩と崖地が絶景を見ることができ、帰りのロープウェイでも絶景を一望でき、小豆島の豊かな自然を感じることができます。

2日目



突然ですがここでクイズです。この写真を見てください。ある動物が掘り返したあとなのですがなんの動物でしょうか？少し考えてみてください。⇒正解はイノシシです。このように寒霞溪では野生動物との距離が近いのが魅力でもあります。ガイドの人に話を聞くと動物が掘り返して、道に石がたくさん転がっていることがあり、実際に自分たちが登ったとき、それによって自分も滑って転びそうになったところがありました。そのような道の整備や植樹やボランティアガイドをやっているいくむし会という寒霞溪を管理する団体があります。しかし近年高齢化による脱退で十分に活動できていません。次はその中の一例です。



中山千枚田 と こまめ食堂



中山千枚田ではお散歩コースと言って歩いて一時間ぐらいの道を歩きます。春は田んぼの水に映る景色、夏には緑いっぱいの風景を上から見渡すと懐かしさを感じることができます。その後はこまめ食堂で昼食をとります。こまめ食堂では湧き水から美味しい棚田の米を食べることができます。

特典

2日目ボランティア活動に参加した人、一人あたり
10%割引

【まとめ】

小豆島の豊かな自然をこれからも残していく必要がある



小豆島の自然の現状に対して働いて自然環境を整えてたいと思ってもらうことが大切

ご清聴ありがとうございました